|  |  |
| --- | --- |
| 2019年度 | 事業報告書 |

特定非営利活動法人全国盲ろう児教育・支援協会

１　事業の成果

　　定款上の「事業の種類」ごとに記載してください。

　当協会は２０１９年４月に設立・登記して以来、社会福祉法人全国盲ろう者協会と密接に連携して、文部科学省などの関係方面に対し、わが国における盲ろう教育の推進を強く訴えてきました。その結果、２０１９年８月には、名古屋市で開催された全国盲ろう者大会の場を借りて、盲ろう児及びその家族と文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長との面談が初めて実現し、さらに、２０２０年度文部科学省予算概算要求に、盲ろう児に対する特別支援教育に関する研究事業の予算が盛り込まれました。

　当協会では、この研究事業(委託研究)を自ら担うことで、わが国における盲ろう教育の推進に寄与したいと考え、これまで盲ろう教育にかかわってきた国内の様々な研究者、研究機関などに幅広く働きかけて、研究事業を実施する準備を進めてきたところです。(本件研究事業の予算については、文部科学省の要求どおり、２０２０年度政府予算に計上されました。)

　また、この文部科学省の予算とは別に、盲ろう児に関する相談など当協会の経常的な活動を進めるための財源確保についても、民間助成団体との調整を粘り強く進めた結果、２０２０年度以降の経常的な活動費について一定の助成金を受けることができる見込みとなりました。

　さらに、当協会の運営基盤の強化、安定的な自己財源の確保を図るため、当協会の正会員、賛助会員の増に努めるとともに、一般からの寄付金を募ってきました。(２０２０年３月末日現在　正会員３１人　　賛助会員８２人)

　このように、当協会は、設立初年度である２０１９年度においては、主に運営基盤の整備や今後の活動の準備などに注力してきたところですが、２０２０年度においては、この成果を踏まえて、盲ろう教育の推進などに向けた活動を本格的に進めていきます。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　　　　　　　　　　　　　（事業費の総費用【　438】千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費（千円） |
| 盲ろう児に関する啓発事業 | 盲ろう児支援に関するパンフレットを作成・配布した。 | 12月以降 | 全国 | 2人 | 盲ろう児家族及び関係者等 | 10000人 | 　281 |
| 協会のホームページを作成し、盲ろう児支援に関する啓発を行った。 | 12月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 　　0 |
| 文部科学省の特別支援教育課長等の関係者と、盲ろう児支援に関する要望、協議を継続的に行った。 | 4月以降 | 東京都 | 4人 | 同上 | 同上 | 　　0 |
|  | 全国盲ろう者協会と連携して、盲ろう児の保護者及び盲ろう児本人と文部科学省特別支援教育課長との面談を行った。 | 8月 | 名古屋市 | 3人 | 同上 | 7人 | 　　0 |
| 盲ろう児の保護者に対する相談事業 | 兵庫盲ろう者友の会と連携して、盲ろう児関係者懇談会を共催した。 | 12月 | 神戸市 | 4人 | 同上 | 15人 | 　134 |
| 盲ろう児及び盲ろう教育全般に関する調査・研究事業 | 盲ろう教育に関する調査・研究事業の予算化に向けて、文部科学省などに対する要望活動を行った。 | 4月以降 | 東京都 | 3人 | 同上 | 10000人 | 　　0 |
| 盲ろう教育に関する文部科学省の委託研究事業(令和２年度新規事業)の実施に向けて、幅広く関係者に呼びかけて「盲ろう児に対する特別支援教育に関する研究委員会(代表　福島智)」を設置し、研究事業の準備を進めた。 | 9月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 　　24 |

（２）その他の事業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（事業費の総費用【　　　　】千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 事業費（千円） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |